

# 兵解協だより

## 新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と良いお年をお迎えになられましたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は、米中貿易戦争の激化が世界中の経済情勢に深刻な懸念をもたらせましたが、今年は5月に元号が変更となり、4月の統一地方選挙並びに、夏の参議院議員選挙さらには10月から消費税が10%に引き上げられるなど、重要な行事が目白押しであり、国民生活への影響が懸念される社会経済情勢にあります。

このような中、5月末で「改正建設業法」が完全施行される運びとなり、これにより「解体工事業」が29番目の業種として位置づけられ、名実ともに「建設業」の仲間入りとなります。

解体工事業を取り巻く社会経済情勢は、依然として厳しいものがあり、深刻な人手不足や高齢化社会がますます進展し、後継者の育成、技術の伝承など様々な課題が山積みとなっておりますが、これを機会に兵庫県解体工事業協会といたしましては、協会員一丸となり、結束をさらに深め「協会」の飛躍的な発展が出来るよう努力してまいりてまいります。また一方では、これまで兵庫県知事との「防災協定」の締結に引続き、兵庫県警察本部長と「災害時支援協定」を締結するとともに、姫路市長と「防災協定」の締結を行うなど、積極的に「社会的貢献」を推進して信用力を高めていくことに努力してまいりました。

また今年は、協会の信用力をさらに高めるため、「一般社団法人」の設立をめざしてまいりたいと考えておりますので、協会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

この様な取り組みとともに、解体工事業の団体・企業が全体としてレベルアップを図ることが必要で、このためには「法令の遵守」、「技術力のさらなる向上」、「さらなる社会的貢献」を推進していく必要があります。今後協会員の皆様方と協力し合って、協会のさらなる発展のために共に努力してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、当協会にご理解とご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。また、協会員の皆様方をはじめ、関係各位の皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



平成31年元旦

兵庫県解体工事業協会

会長 上原 満